

## 平成19年度第4回八幡地域協議会会議録（概要）

日 時 平成19年11月28日（水曜日）午後1時35分～午後4時20分

場 所 日向公民館 第1研修室

出席者（15名）

1号委員 佐藤善一 阿曾美智子 荒生三雄 小野明美 堀茂雄 御船孝  
2号委員 後藤純子 村上三喜郎 後藤甚一 小野満洲雄 土井廣 高橋知美  
3号委員 田村和徳 池田善幸 後藤泉

八幡総合支所：支所長 三柏憲生、地域振興課長 池田保、地域振興課 土田清一・永森忠嗣・  
御船正周・佐藤義夫  
市民福祉課長 村上秀一、建設課長 後藤修、産業課長 畠山修、教育振興室長  
松田文夫、八幡病院事務長 小松秀司

欠席委員 なし

傍聴者：2名

### 議事日程

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 協 議
  - （1）八幡タウンセンター整備構想について
  - （2）その他について
  - （3）委員から提出された課題等について
- 5 その他
- 6 閉 会

## 1 開 会

**高橋副会長** 本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。それではこれより、第4回地域協議会を開催します。会議次第に従って、小野会長から挨拶をお願いします。

## 2 会長あいさつ

**小野会長** 今年も残り30数日となり、委員各位においてはご多忙のことと思います。第3回目は大沢公民館での開催で、今回は日向公民館を借りて行なうこととなりました。前回の会議より委員から課題を出していただき、協議を行なうこととしました。多数の課題にのぼっておりますが、よろしく申し上げます。

## 3 会議録署名委員の指名

**高橋副会長** 会議に入る前に、会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は「委員名簿の順番で」となっておりますので、今回は“4番の小野明美委員”です。小野委員よろしく申し上げます。

**小野明美委員** わかりました。

**高橋副会長** それでは早速協議に入ります。会長が議長となり協議を進めていただきます。

## 4 協 議

**小野議長** これから協議に入りますが、概ね午後4時頃の終了を目途としていますので、ご協力願います。先ほども申しましたが、今回の会議は、前回同様、委員から提出していただいた課題を元に協議を行なうものです。未協議の課題がかなりありますので、話し合いの状況を見ながら協議を進めたいと思います。

その前に、支所から協議事項がありますので、説明をお願いします。

**三柏支所長** (資料No.1に基づき説明)

昨日、本構想に対する関係部課長会議があり、その際の資料を提示しました。変更があった部分等を中心に説明いたします。「基本的考え方と整備の概要」の(3)ホール機能ですが、今より面積が下回ることはないようです。(4)図書館機能ですが、本年度中に中央図書館と各分館、公益文科大学図書館機能がネットワーク化されるため、八幡に居ながら読みたい本の借り入れ予約ができ、受け取りも八幡中央公民館で可能となります。(5)観音寺公民館はタウンセンターを整備しても地域活動の拠点として併設をするということです。(6)保健センター機能ですが、施設改修を行ってきたことから、そのまま利用した方が良いのではないかという考えが出ています。学童保育、社会福祉協議会の事務機能、商工会、現在平田総合支所にある国保レセプトセンターの入居を検討しています。それから庁舎西側の車庫、森林組合の倉庫を載せていませんが、解体整備の考えです。これに替わるものの整備は未定です。なお産業会館は老朽化が激しいため、解体の考えです。スケジュールとしては、本年12月から来年8月まで実施設計、その後総合支所を中央公民館に仮移転し、20年の12月から21年の12月まで建設工事を行ないます。その後、総合支所機能の移転、中央公民館の解体・外構工事となります。外構工事は駐車場だけではなく、イベント広場等の整備を行なう

予定になっています。

次に中央図書館八幡分館整備計画案ですが、蔵書数を現在の約3倍にあたる1万冊と計画しており、比較的用户の多い、幼児、婦人、高齢者層を中心とした図書構成を考えています。次に読書スペースとして、コミュニティスペース等を読書・学習スペースに開放するなどして、オープンな図書空間の活用を図ることとしています。最近、タウンセンターという言葉を目にするが、内容を説明してもらいたい、という声が地域の皆さん、例えば、区長さん、各団体の代表の方々等から高まってまいりました。このため、来月早々の夜間、4地区に分けて説明会に入りたいと考えております。その場において、多くの要望が出るかもしれませんが、なるべく地域の住民の意向を取り入れるよう努力をしていきたいと思っております。

**小野議長** ただいまタウンセンターの説明がありましたが、皆さんからの意見を願います。

**後藤泉委員** タウンセンターについて、検討委員会をつくり協議を行なう予定はないのでしょうか。

**三柏支所長** このための委員会等をつくる考えは持っておりません。

**後藤泉委員** 最近もタウンセンター構想について話し合う機会がありましたが、この施設は10年から20年後を見越し、住民の考えを取り入れた建物にしてもらいたいと思っております。それから、観音寺地区の住民からすれば、やはり公民館は独立させてもらいたい、という考えが多いのではないかと思います。

**三柏支所長** まず観音寺公民館の併設ですが、中央公民館の施設が空いている場合、併用するという事です。観音寺公民館の独立という考えですが、土地及び限られた財政等の問題があることを考慮していただきたい。それからタウンセンターは不特定多数の方の利用を考えた施設ということ。いずれにしても、地区ごとの説明会の場で、積極的に意見を出していただきたい、と思っております。

**後藤泉委員** これから地区の説明会をするということですが、同時並行的に委員会的なものも設け、そこでも意見を吸い上げ、すばらしい施設にできれば、と私は考えます。

**三柏支所長** 参考とさせていただきます。

**土井廣委員** 庁舎の西側車庫も解体され、支所機能がかなり縮小されるのではないかと、いうことを心配しています。

**三柏支所長** 本所で行なった方が効率的な業務は本所に、一方、支所は住民サービスに直結した業務とするなど、当然再編が図られていくと思っておりますが、一概に、支所機能の縮小ということではないと考えています。また、西側車庫の解体の件ですが、現在スクールバス等が入っていますが、旧市とは降雪状況が異なるので、従来どおり、車庫を確保すべく要望していきたい考えです。

**土井廣委員** 支所のスペースがどのくらいになるのかわかりませんが、スペースが減れば、職員も減る、そして住民サービスも低下する、ということをお危惧するものですから、お伺いしたい。

**三柏支所長** 仮に職員が減ったにしても、サービスは低下しない、させるべきではないと考えます。

**土井廣委員** 最近、市の様々な所の緑が少なくなったと感じます。八幡は鳥海山もあるわけ

ですし、是非、タウンセンター構想については、緑化を考慮していただきたい。

**三柏支所長** 本構想にも「憩いの広場」とありますが、単にコンクリートを敷き詰めたものではなく、緑の広場にしたい考えです。

**村上三喜郎委員** 本構想のスケジュールを見ても、スピードが速いと思わざるを得ません。住民に対して早期に説明をし、納得のいく施設にしていっていただきたいと思います。また、松山、平田の状況はどうなのか。それから、昔の役場と違って、何かと手間がかかるようになったと感じます。タウンセンターの中に、住民の様々な事が全て手続きできるような機能を設けてもらえれば大変便利で良いのではないかと思います。

**三柏支所長** 説明会については、来月早々にも、旧町時代の文化施設整備計画からの経過を含めて行ないたいと考えております。各地域の状況ですが、平田の場合は既に施設があります。松山は現庁舎向いのコミュニティセンターの利用と旧酒田信用金庫の店舗を買い取り、改修して利用する、という計画です。後段については、改善を重ね、住民サービスを向上していかなければならないと考えます。

**小野議長** タウンセンターについてはこれから地区ごとの説明会に入ることですので、このぐらいにしまして、次に乳幼児健診・ポリオ予防接種アンケートの件について、支所から説明願います。

**村上市民福祉課長** (資料No. 2に基づき説明)

本アンケート調査は市健康課及び総合支所合同で8月20日付けで行いました。アンケートの内容はご覧のとおりで、合同実施した場合の年間実施回数、メリット・デメリットを書いております。その次のページ以降はアンケートの結果と分析を示したものです。それを受け、平成21年度から松山・平田は平田で合同実施、その状況を踏まえ、平成22年度から八幡は平田での合同実施に加わる予定となっております。以上です。

**小野議長** ただ今の説明について、質問等ありますか。

**高橋副会長** 平成22年度から八幡は松山・平田の合同実施に加わる予定とのことですが、アンケートには酒田での合同実施の項目もありますが。

**村上市民福祉課長** 結果の円グラフを見ていただきたいのですが、八幡の場合は58%の方が、船場町よりも平田での実施を希望となったためです。

**小野議長** ほかにありませんか。それでは次に移ります。

**事務局** (資料No. 3～4に基づき説明)

地域づくり予算の事業成果と20年度予算要求内容について説明します。事業ごとに20年度予算の内容の変更点、19年度の成果及び事業内容を記載しております。事業のうち本年度分から他事業と統合或いは本所予算と一本化されたものがあります。財政当局において、来年度予算の要求は本年度予算から5%減、という方針もあり、全体的に減額の要求です。それから資料No. 4につきましては、後藤甚一委員からの要求に基づく資料です。

**小野議長** ただ今の説明に関し、ご意見等ございませんか。

**後藤純子委員** 年度当初の市長の話では、地域協議会があるということは合併していないということなので、地域課題の解決はコミュニティ振興会で行なわなければならない、という話があったのでこの協議会も20年度で終了なのか。それから、この地域づくり予算はいつまでであるのかについて伺いたい。

**池田地域振興課長** 地域づくり予算は現在のところ、これまでどおりです。それから、本協議会について、20年度で終了という話は出ておりません。

**三柏支所長** コミュニティ振興会と本協議会は直接関係がありません。協議会は条例に基づいて設置されていますが、何年度までという年限は規定されていませんし、そういった話も聞いておりません。また、地域協議会は不安と課題を解消することを目的として設置されている訳で、現状での終了は考えられません。

**堀茂雄委員** 通学バス保護者会補助金について、20年度は金額が記載されていないが、関係課と調整中とあります。いくらかの金額は付く予定と考えてよろしいのでしょうか。

**池田地域振興課長** 昨年度までは保護者会が事業を実施し、その不足分に対し、上限を定め、補助金を交付しました。本年度は保護者会で事業をしておらず、庄内交通で運行するバスに乗っている状況です。このため、今後どの予算に計上するかも含めて検討中ということです。

**田村和徳委員** 今の件について補足します。これまでは立川交通にお願いしていましたが、経営が厳しく、燃料費も高騰したため、ボランティア的な運行はできない、と断られました。そこで、市からも協力してもらい、庄内交通に同じ条件で運行してもらえないか、とお願いをし、現在に至ります。最終的に差額が出たときに、市からどの程度支援していただけるのかわかりませんが、なるべく子供には迷惑を掛けられないと考えています。

**後藤泉委員** 社会体育事業で金額が半分になっているのは、鶴間池の小舎の関係なのか。それから、地域づくり予算で19年度と20年度でどれだけ変わったのか教示願いたい。

**松田教育振興室長** 最初の点についてはご指摘のとおり鶴間池の小舎の分が減になった、ということです。

**池田地域振興課長** 地域づくり予算のみならず、市の予算全体として5%減となっていますので、地域づくり予算の増額はありません。今年度までは事業を止めればその分が減額、ということでしたが、これからは全体として減額する。ただし、新規については認める場合もあるという方針です。

**小野議長** ほかにありませんか。それでは次、委員から提出された課題の協議に移ります。今回は11番の「通学路・道路の安全性について」からということで、田村委員から提案理由をお願いします。

**田村和徳委員** ちょうどこの課題を提出した頃、内陸で通学時、子供の列に車が突っ込んだという事故がありました。道路は地域の人だけではなく、他市から仕事で来ている人等も利用するわけです。ここが安全かどうかについては把握している必要があるのではないかと思います、提案しました。

**高橋副会長** まず、前期も言いましたが、八幡保育園からの土手の道路、散歩をする方が結構いるのですが、かなりのスピードで走る車が多い。次に散策路や舞鶴公園の芝に車が入り込むこと。それから、中央公民館・支所前の歩道に段差があるため、車椅子、ベビーカーが難儀すること。最後に、観音寺の中心街で路上駐車が多いこと、を上げさせてもらいました。

**小野議長** 当局の答弁をお願いします。

**池田地域振興課長** 通学路の安全については交通安全協会、母の会等から街頭指導等を行なっていると思いますが、路上駐車・交通規制については酒田警察署が管轄ですので、交通安全協会等とも連携しながら要望していきたい。

**後藤建設課長** 大沢方面からの方が信号機がないせいか、結構土手を走っているようです。ただ憩いの道路で散歩する方もおり、地区からも危険防止の要望が出ています。市道でありますので、何らかの周知を検討したいと思います。次に舞鶴公園の芝に車が入るとの指摘ですが、その都度担当職員を派遣し、注意をしております。ドライバーのモラルの問題ではありますが、道路及び公園管理者としまして、なお注意を徹底するとともに、市の担当課にも連絡いたします。それから歩道の段差ですが、支所前もそうですがこれを改修するとなると、かなりの工事費を要します。例で言えば、国道344号線の歩道整備では段差のない改修が、本年12月から21年度完了ということで工事予定です。何かの事業が入れば整備可能ですが、現状では難しいと考えています。

**堀茂雄委員** 直接、交通規制はできないのか。

**池田地域振興課長** 酒田警察署において規制を行うということです。それから、路上駐車については、観音寺駐車場も整備しており、以前に比べれば減っているとは思いますが。

**後藤建設課長** 観音寺駐車場は現在7割程度の充足率です。まだ、余裕がありますので、利用促進を図っていきたいと思います。

**池田善幸委員** 市道の直接規制はできない、ということですが、警察で勝手にやるわけではない。以前テレビ番組で見たが、狭い道路の交通安全について地域の住民が動いて解決に持っていった。住民が声を出し、まとまって要望すれば、こういう問題はすぐ解決すると思う。

**池田地域振興課長** 地域には交通安全協会の支部がありますので、そこを通して話をした方が、通しやすいように思います。

**池田善幸委員** 路上駐車の件ですが、自分もいつも危ないと感じている。ただ、駐車禁止に反対しているのは周囲の商店で、売上げが落ちるからだと言ったことがあります。

**畠山産業課長** 先ほど八森の芝生の件で、建設課長が説明しました。鳥海やわた観光に管理を委託していますが、観光地でもありますし、会社を通じて注意していきたい。

**小野議長** それでは次の課題に移ります。12番「産業の振興について」、田村委員の提案です。

**田村和徳委員** 升田の玉簾の滝ですが、今夏、親戚を連れて行ったが、虫がすごかった。これが自然だと感じつつも、ゆっくり観賞できず、これで人を集められるのか疑問に思いました。次に雇用ですが、自分の子供とその友人が今春就職のため、都会へ行った。一條地区は子供数が多いのですが、ある年齢になれば地元を離れてしまう。観光と雇用を結びつけることはできないか、と考え提案しました。

**小野議長** 田村委員から提案がありましたが、当局からありますか。

**畠山産業課長** 虫除けについては有効な手立てはなく、薬を持参する等自己防衛でお願いしたい。また地域でもライトアップ等を行っており、八幡としても振興に力を入れている。それから企業立地の件、市全体としても厳しい状況ですが、升田にMIPという会社が水を求めて立地している。従業員16名中7名を八幡から雇用しております。

**小野議長** よろしいですか。それでは次の課題に移ります。13番「賑わいと活力に満ちたまち/地域農産物を利用した加工産業育成について」、佐藤善一委員からお願いします。

**佐藤善一委員** 別紙の提案をさせていただきました。まず、高付加価値の農業への転換ですが、全国ベースで食の家計費は70兆円に対し、農水産業の手取りは16兆円で差額の相当

部分が加工ではないかと考え、これを踏まえた産業おこしができないものか。特に北庄内は鶴岡・田川地区に比べ加工が遅れている。地域における加工産業を地域雇用の増加による人的活性化につなげることができれば、と考えます。これによって、中央に吸い上げられる資金の流れを中央から地方に呼び戻すことができ、そして市場の評価が高まれば、景気に左右されにくい安定した産業になるのではないかと、ということで4項目を上げました。端的に言えば、これら4項目を一体で支援する部門を行政に設けてもらい、それがひいては、“賑わいと活力に満ちたまち”づくりにつながっていくのではないかと思います。

**小野議長** それでは産業課からお願いします。

**畠山産業課長** 地域が自らの資源を生かし、どう売っていくかをまず考えていただきたい。これまでのように行政主導の時代ではない。市でも補助金、制度資金等を通じ支援は行なうが、飽くまでも自己責任に基づく計画・提案が必要だ。米価も下がり、転作率も35%の中で、何を作っていけば売れるのかという、経営感覚を是非持っていただきたい。

**佐藤善一委員** 今、何かしなければ、という気持ちは皆持っていると思うので、それを側面から支援する、農業と商工業が一体となったアドバイザー的窓口が必要だと思います。

**畠山産業課長** 農業と商工業について、市では各々担当部署があるわけですが、具体的な計画等がなければ、一体的な窓口設置については踏み込めないのではないかと考えます。

**佐藤善一委員** 何かをしなければということは、個人個人考えていると思いますが、産業おこしの窓口がどこなのか、合併したら、規模が大きくなってどこに相談したら良いのかわからない、という思いがあったので、提案しました。

**池田善幸委員** この問題は人づくりということに尽きると思う。また、何かをしなければ、と思ったときに相談する窓口が是非欲しいし、そのPRも必要だ。先ほど地域自身が考えてもらいたい、という話があったが、やはり行政の力は小さくないと思うので、側面支援をお願いしたい。

**畠山産業課長** 人づくりの面からは様々な研修会等を開催しているので、積極的に参加してもらいたいし、各種相談業務は支所の重要な仕事と位置づけているので、何かあったら、相談に来てもらいたい。

**小野議長** 次に移ります。14番の「自然学を学ぼう」、後藤甚一委員からお願いします。

**後藤甚一委員** 青沢峡の旧林道、秋は紅葉がきれいなので、遊歩道にしてはどうか。それから、升田地区に自然館を、というのは学校の子供たちに環境の良い升田にスクールバスで来て、勉強してもらえば、その子供が大人になったとき、移り住んでくれるのではないかと考えました。

**小野議長** 本件、当局からお願いします。

**畠山産業課長** 遊歩道への活用は可能かもしれないが、行政で行なうよりも、まず地域主体でがんばってもらいたい。それから自然館の件ですが、新規の施設は厳しいので、現存施設、升田では滝の里ふれあい館、青沢は克雪管理センター等を活用していただきたい。

**後藤甚一委員** 今後、学校の子供たちがスクールバスで来て、勉強する計画はどうか。

**松田教育振興室長** もう少し、本協議会で煮詰めていただいて、市長に提言していただければと思います。

**村上三喜郎委員** 滝の里ふれあい館の話が出たが、子供たちの遊び場として開放すれば良い

と思うのだが、市では頑なにダメという。是非、再考してもらいたい。

**村上市民福祉課長** 本所での議論が進んでいないようなので、市担当課に伝えます。

**池田善幸委員** 今はどこが管理しているのか。

**村上市民福祉課長** 本所では高齢福祉課が担当しているが、利用拡大の件は、企画調整課が主に行なっている。

**小野議長** 時間が迫ってきていますが、次、15番の「夏祭りの今後について」、田村委員からお願いします。

**田村和徳委員** 夏祭りについて次は中止の噂があるものですから、実情と今後について伺いたい。

**後藤泉委員** 私の課題にも24番「夏祭りイベントについて」があるので、田村さんの課題と一緒にお願いしたい。合併後、夏祭りの規模が縮小され、賑やかな場面がなくなってきたと感じている。国府の歴史に基づき、本楯地域と一体でのイベントができないものか。

**畠山産業課長** これまでは商工会中心の実行委員会でしたが、来年4月に合併するため、人員等の面から、今後、商工会中心は厳しい情勢です。このため、地域の皆さんの参加による実行委員会形式での開催について、早い時期に動きたいと考えています。なお、来年度については別紙のとおり予算要求しております。なお、本楯地域と一体でのイベントについては相手があるわけですが、総合的に検討していきたい。

**小野議長** 最後に、後藤泉委員の28番「雪捨て場について」を協議したいと思います。

**後藤泉委員** 湯ノ沢の緑沼のピオトープ的な所ですが、貴重な動植物が豊富なため、排雪を止めていただきたい。2年前の大雪の際は、雪のみならず、砂利等も捨てられていた。モラルの問題だとは思いますが。

**後藤建設課長** 平成17年から斎場南側の市有地を、雪捨て場として指定している。現地も確認しており、担当課には再度啓蒙したいが、指定していることから、今後、委員と相談していきたい。

**小野議長** そのほかございませんか。まだ未協議の課題は11項目残っています。冒頭申しましたとおり、本日は午後4時ぐらいまでと申しましたので、未協議の課題については次回以降ということにしたいと思います。

それから次回協議会の日程と場所について、皆さんからのご意見をお願いします。

(議長一任の声あり)

**小野議長** 議長一任の声がありましたので、事務局と相談し、決めたいと思います。

## 5 その他

**小野議長** その他、皆さんからありませんか。

**小松八幡病院事務長** 皆さんに薬の院外処方について連絡いたします。病院の近くに調剤薬局ができたことから、来年の4月から実施予定です。メリットとしては、待ち時間が早くなる、自宅等の近くで受け取れる、等があります。

**小野議長** 私から学童保育について報告します。一昨日、立ち上げの準備委員会があり、来年4月から保健センターを利用しての開所、が決定したようです。また、学童の運営委員会及び保護者会の役員も決定しています。



**小野明美委員** 学校のPTAや保護者に話がないので、詳細は不明だが、補助金をもらい立ち上げる以上、指導員の確保としっかりした運営体制をお願いしたい。

**田村和徳委員** 運営は委員会の役員なのか、それとも第三者を雇用して行なうのですか。また、入所予定人数はどのくらいですか。

**小野議長** 別に指導員を頼むということと、人数はおよそ10名と聞いています。

**村上市民福祉課長** 来年4月からの開所に向け、地元の受け皿作りの準備の段階ですので、具体的にPTA等に対する話は、予算がある程度固まった段階かと思います。

**田村和徳委員** 発足時で約10名とぎりぎりの状態で、子供の数がどんどん減っていくのに、今後の見通しをどう立てているのか。

**村上市民福祉課長** アンケートを取り、約10名の方が利用するというので予算要求等をしており、今後もその程度の利用があると見込んでいる。

**後藤基一委員** 聞いたところでは、発足してからの様子を見て入所するか決めたいという保護者が20名くらいいるそうなので、そのくらいの利用希望はあるということだと思う。

**小野議長** 本件は協議会でも何回となく意見交換してきたところから、報告させていただきました。

## 6 閉 会

**小野議長** それでは、これを持ちまして、本日の協議会を終了したいと思います。委員の皆さんご苦労さんでした。